

# 地域における琉球銀行

## 地域とともに

### 社会貢献活動を展開

琉球銀行は、社会活動も地域金融機関にとっての重要な役割と考え、各地域での清掃活動や諸行事への参加、福祉や環境保全への助成など、さまざまな活動に取り組んでいます。

また、社会福祉活動に関わる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」、「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の事務局として、その運営に携わっています。

### ～経済と環境について学ぼう～ 「りゅうぎんキッズスクール」



熱心にゲームに取り組む生徒たち

琉球銀行では、県内の小学生に対する経済教育を目的として、毎年夏休み期間中に小学校高学年の生徒を対象に「りゅうぎんキッズスクール」を開催しています。経済の仕組みやお金の流れ、銀行の役割などを楽しいゲームを通して学ぶもので、参加児童、父母から好評を得ています。今年も、沖縄の自然環境やアウトドアについて学ぶ「環境ミニセミナー」をあわせて開催する予定で、継続的なCSR活動の一つとして位置付けています。



「アリナ・バラバン ピアノ・リサイタル」入場チケットを沖縄県社会福祉協議会へ贈呈



### 「りゅうぎんユイマール助成会」

琉球銀行では、役職員による募金と同額の銀行からの寄付金を基金とする「りゅうぎんユイマール助成会」を運営し、地域の福祉活動や環境保全活動を支援しています。

平成21年度には、「沖縄県交通遺児育成会」、「沖縄県共同募金会」などへの寄付や、多大な被害を受けたハイチ大地震被災者を支援するための救援金を日本赤十字社沖縄県支部に贈呈しました。

また、国際親善交流特別演奏会「アリナ・バラバン ピアノ・リサイタル」の入場チケットを沖縄県社会福祉協議会に贈呈したほか、小規模作業所の自立支援を目指すイベント「りゅうぎんナイスハートバザール」を開催しました。

ハイチ大地震被災者への救援金を日本赤十字社沖縄県支部へ贈呈

「りゅうぎんユイマール助成会」は、平成5年に琉球銀行の創立45周年を記念して設立した基金です。毎年、役職員に募金を募り、さらに募金と同額を銀行が寄付することで基金を造成します。例えば、役職員から200万円の募金が集まった場合、銀行も200万円を拠出し、合計400万円を助成会の活動原資とする仕組みです。りゅうぎんユイマール助成会では、地域の福祉活動や環境保全活動を継続的に支援しており、設立からの助成実績は、289件、1億2,786万円となりました。（平成22年6月現在）

# 地域における琉球銀行



第15回宇流麻福祉基金助成金授与式  
**「宇流麻福祉基金」**  
 (助成実績101件、4,094万円 平成22年6月現在)



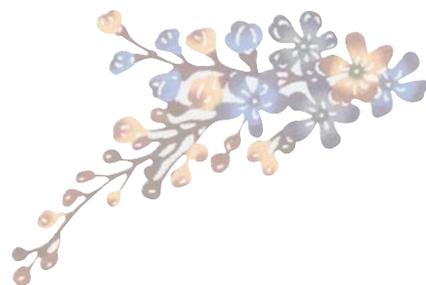
第12回源河朝明記念那覇市社会福祉基金助成金授与式  
**「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」**  
 (助成実績119件、5,869万円 平成22年6月現在)

## 公益信託による社会貢献(公益信託事務局)

琉球銀行は、社会福祉活動に関わる法人および団体を助成する「宇流麻福祉基金」「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」の事務局として、その運営に携わっています。

「宇流麻福祉基金」は、源河朝明氏より委託を受けた公益信託として、平成8年12月に設立され、沖縄県内で社会福祉活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。

「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」は、平成10年11月に設立され、那覇市を中心に県内の社会福祉に関わる活動をしている法人および団体に対する助成を目的としています。



オープニングセレモニー



第18回りゅうぎん紅型デザインコンテスト表彰式

## りゅうぎん紅型デザインコンテスト

琉球銀行は、芸術・文化活動支援の一環として、沖縄県内の若手工芸家の育成と伝統工芸である紅型を広く紹介することを目的に、「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」を毎年開催しています。

応募作品は展示会で発表するとともに、入賞作品は琉球銀行のカレンダーの絵柄として採用されるほか、ティッシュやメモ帳など頒布品の絵柄にも採用されています。

※第17回(平成20年)に事業名を従来の「りゅうぎん紅型デザイン公募展」から「りゅうぎん紅型デザインコンテスト」に変更しています。



## 第25回 りゅうぎんプレゼンツナイスハートバザールイン沖縄!



琉球銀行のボランティアスタッフ



ボランティアスタッフの活動



ナイスハートバザールオープンセレモニー



りゅうぎんユイマール助成会および琉球銀行は、平成17年より財団法人沖縄県セルフセンターの主催する「ナイスハートバザールイン沖縄」に特別協賛しています。

平成21年11月21・22日の両日、イオン南風原ショッピングセンターで開催されたバザールでは、障がい者の自立促進を目的に、授産施設や小規模福祉作業所38団体の作った木工品・小物・食品などが展示・販売されました。

琉球銀行は特別協賛企業として運営費を補助したほか、バザール本番に先立ち、本店・南風原支店のロビーにおいて、バザール出店団体の商品を展示するほか懸垂幕を掲示するなど宣伝活動をバックアップしました。

また、バザール当日には、多くの当行職員が、販売やイベントのボランティアスタッフとして運営を支援しました。



第15回障害者タスキリレー



楽しいステージ



商品の販売